

# 地域での減災対策

## 災害時に必要な3つの役割「自助」「共助」「公助」

### 「自助」

「自分の命は自分で守る」。全ての人がある自分の身を守るために全力を尽くさなければなりません。まず、自分がケガをせずに生き残ることが基本です。

### 「共助」

ケガをせず生き残れたら、次に「地域の安全はみんなで守る」です。周りを見渡して、助けを求める人がいないか、確かめましょう。自主防災組織のような地域コミュニティを中心とした単位で、助け合いましょう。

### 「公助」

「国や自治体、防災機関などによる救助・災害支援活動」。災害の規模が大きくなるほど公助による住民への迅速な援助は難しくなります。効果的な公助の展開には発災後1週間はかかると考えておく必要があります。

## ● 日頃からコミュニケーションを取る

自分自身の身を守る「自助」が第一ですが、近所の人たちと協力しながら地域の安全を守る「共助」も必要です。

阪神・淡路大震災で、家の下敷きになった人々の多くを助けだしたのは、家族や近所の人たちでした。

自主防災組織は、地域コミュニティの力が発揮される典型的な共助による組織です。日頃から地域の様々な活動に積極的に参加して、地域の人たちとコミュニケーションを取り、要援護者がいる家庭や地域の人たちの状況を把握し、災害時における各人の役割を明確にしておくことが大切です。

